

子宮頸がん 検診「無料クーポン」恒久化と 予防ワクチン「公費助成」を推進

横浜市会議員 高橋まさはる

欧米では75%前後の女性が計されます。公明党では、子宮がん・乳がんの検診を受けていますが、日本では20%前後という低い検診率。子宮頸がんは、年間約15000人が発症、約3000人が亡くなると推



わり、事業の継続を心配していましたが、横浜市は22年度、事業が重要と考え半額を市費負担とし昨年同様事業を行うことになり、安堵しました。

6月下旬に配布

子宮頸がん検診「無料クーポン」
横浜市の無料検診対象者は約23万人。市内居住の女性のうち、平成21年4月2日から平成22年4月1日の間に20・25・30・35・40歳になった方。乳がん検診は40・45・50・55・60歳になった方。無料クーポンは6月下旬に、全対象者に発送されます。

今年度 予防ワクチンに

「女性特有のがん検診推進事業」が創設されました。
今年度は、全額国費補助から自治体が半額を負担する制度に変わ

化する場合があります。定期検診と予防ワクチンの接種で、ほぼ100%防げるとされています。しかし、予防ワクチンは半年で3回の接種が必要、費用は合計5万円前後と高額です。欧米では、すでにワクチン接種に公費助成が行われている国もあり、日本でもより多くの人が、公費助成が強く求められています。

「公費助成を！」
子宮頸がんの主な原因はHPV（ヒトパピローマウイルス）。感染してから約10年かけて、がん細胞に変

高橋まさはる プロフィール

- 公明党横浜市会議員団 政務調査会長
 - 1959年 岡山県倉敷市生まれ
 - 02年 東芝ソシオシステムズ(株) 退社
 - 03年 横浜市会議員に初当選、現在2期目
- 中山町320-5 ☎045-929-5305
www.masaharu.info office@masaharu.info